
体育史学会 会報

Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 203 2012. 4. 15.

体育史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学 保健体育講座

榊原浩晃研究室内

Fax: 0940-35-1709 (保健体育講座共通)

hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp

事務局への連絡は Fax または e-mail をご
利用下さい。

1. 体育史学会第1回学会大会(2012年度)の開催について

体育史学会第1回学会大会(2012年度)は、下記のとおり5月12日(土)および13日(日)の両日、広島県福山市の福山平成大学において開催いたします。一般研究発表は、次頁のよ
うに7演題となりました。この他に体育史研究・研究方法セミナー(演者:楠戸一彦先生)
を実施いたします。発表抄録集(冊子)は、5月上旬の研究集会前にお手元に届くように
準備いたします。なお、発表時間は、1演題あたり発表20分、質疑15分(計35分)で
す。当日、資料を配付される発表者は50部ご用意下さい。懇親会費は5,000円です。

懇親会は第1日の一般研究発表、体育史研究・研究セミナー終了後、大学近くの中国料
理・同楽縁(福山市御幸町上岩成476-5 TEL084-972-7176)で開催いたします。

**懇親会に参加される会員の皆様は、準備の都合上、5月7日(月)までに体育史学会事務
局の榊原浩晃会員のメールアドレス(hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp)に「体育史学会春
第1回学会大会 懇親会参加 会員氏名〇〇〇〇」というようにお知らせください。**毎回
懇親会参加人数の把握に苦慮しております。参加予定の会員の皆様は、メールで事務局ま
でお知らせ下さい。

体育史学会 第1回学会大会 (2012年度)

期日：平成24年5月12日(土)及び13日(日)

場所：福山平成大学 (〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸 117-1

084-972-5001(代表) JR福塩線「万能倉(まなぐら)駅下車」 徒歩約15分

<http://www.heisei-u.ac.jp/info/access/index.html>

懇親会会場：中華料理・同楽縁 懇親会費 5,000円
(〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成 476-5 TEL084-972-7176)

第1日目、一般研究発表・体育史研究・研究方法セミナー(新企画)および懇親会(12日)、
第2日目研究発表・総会(13日)

5月12日(土) 13:30~18:00 一般研究発表, 体育史研究・研究方法セミナー終了後懇親会を開催します。

新企画(体育史研究・研究方法セミナー)

17:00~18:00 第1日目 一般研究発表終了後
(趣旨)

一般研究発表に加えて、学会大会で若手の先生方や院生へのレクチャー形式で「体育史研究・研究方法セミナー」と題する内容をプログラムに挿入し、今回は広島大学の楠戸一彦先生にご登壇いただきます。

演者 楠戸一彦(広島大学) 「歴史研究の課題—実証と解釈」

座長 有賀郁敏(立命館大学)

5月13日(日) 9:30~11:30 一般研究発表, 11:30~12:30 総会

体育史学会 第1回学会大会 (2012年度) 日 程

**第1日 5月12日(土) 一般研究発表, 研究方法セミナー及び懇親会
受付 13:00より**

時間	題目	発表者	座長
13:35~ 14:10	日本における近代スポーツ規範形成に関する研究—増田義一著『思想善導の基準』(1921)にみる英国化とその限界—	船場大資 (山口大学大学院東アジア研究科博士課程)	榊原 浩晃 (福岡教育大学)
14:10~ 14:45	戦前における埼玉県内の中等学校体操教師について—昭和12年度に行われた中等学校体操科教員調査をもとに—	古川 修 (財)埼玉県体育協会 (東洋大学大学院)	大熊 廣明 (筑波大学)

14:45～ 15:20	第二次大戦末期の航空体育に関する研究 — 国民学校への導入過程に着目して—	村井 友樹 (筑波大学大学院)	坂上 康博 (一橋大学)
15:20～ 15:35	休 憩		
15:35～ 16:10	1890年代のイギリスにおける体育理論への ゲーム活動の位置づけとその主張 — Physique : Journal of Physical Education(1891)を中心として—	登 あい (筑波大学大学院)	池田 恵子 (山口大学)
16:10～ 16:45	女子体力章検定の制定過程に関する研究 — 体力の動員とジェンダーの観点から—	鈴木楓太 (一橋大学大学院)	来田 享子 (中京大学)
16:45～ 16:55	休 憩		
16:55～ 17:55	[体育史研究・研究方法セミナー] 歴史研究の課題: 実証と解釈	楠戸 一彦 (広島大学)	有賀 郁敏 (立命館大学)
18:00～ 20:00	懇親会		

第2日 5月13日(日) 一般研究発表及び総会

時 間	題 目	発 表 者	座 長
9:30～ 10:05	朝鮮弓術の近代化と競技化 — 20世紀射契の事例を中心に—	李 燦雨 (筑波大学研究員)	新井 博 (びわこ成蹊 スポーツ大学)
10:05～ 10:40	中国における C.H.マックロイ — 陶行知との関係を中心に—	鈴木 明哲 (東京学芸大学)	大久保英哲 (金沢大学)
	休 憩		
10:50～ 11:50	総 会		

会場責任者: 都筑 真(福山平成大学)

II. 一般社団法人日本体育学会設置認可に伴う「専門領域 体育史」の名称使用について

日本体育学会常務理事の近藤良享先生より、標記についての文書が事務局に届きました。会員の皆様にご一読いただきたく再録いたします。

平成 24 年 3 月 29 日

日本体育学会 各支部, 各専門分科会
世話人(事務局) 各位

日本体育学会常務理事 近藤良享

一般社団法人日本体育学会の認可とお願い

日本体育学会各支部, 専門分科会の世話人の方々に、標記の一般社団法人の認可をお知らせできること、心からうれしく存じます。

前期より、「社団法人から一般社団法人への移行」にむけ、関係各位におかれましては、並々ならぬご苦勞をおかけしましたが、無事、添付ファイルにありますように、野田内閣総理大臣より認可を受けました。感謝申し上げます。

つきましては、4 月 1 日より、一般社団法人としての運営を始めますが、特に、支部の呼称は「地域」、専門分科会の呼称は「専門領域」に変更をお願いします。本部関係については、ホームページ、公文書なども順次変更していきます。

新しい定款により、平成 24 年 4 月 1 日から一般社団法人日本体育学会〇〇支部, 同〇〇専門分科会を使うことはできません。誤って「一般社団法人」と「支部」「専門分科会」を並列で使用すると法律に触れ、違反には 50 万円以下の罰則まで設けられております。ご注意ください。

しばらくの間、移行処置として、地域(支部), 専門領域(専門分科会) と表記する場合がありますが、可能な限り、地域, 専門領域への変更をお願いします。ご不明な点があれば、学会事務局までおたずねください。

今後とも、日本体育学会の運営にあたり、ご尽力、協力を重ねてお願い申し上げます。

III. 日本体育学会第 63 回大会におけるシンポジウムおよびキーノートレクチャーの実施について

平成 24 年 8 月 22 日～24 日に開催される日本体育学会第 62 回大会（東海大学湘南キャンパス）において、専門領域「体育史」企画として以下のシンポジウムとキーノートレクチャーを実施する予定です。日時は、現時点の予定であり、変更の可能性もあります。

1) 専門領域「体育史」企画(1) シンポジウム

シンポジウムは、第 1 日目 8 月 22 日(水) 14:00～16:00 を予定しています。

「日本におけるスポーツ用品製造・販売業の発達」
コーディネーター：大熊 廣明（筑波大学）

シンポジスト

- ・水野 利昭（ミズノ株式会社社長室室長）
日本のスポーツと歩んだミズノの 100 年（仮題）
—水野利八の創業と経営理念—
- ・西澤 保佑（株式会社西澤書店代表取締役社長）
西澤書店の 150 年（仮題）
—スキー業界への進出、そして撤退—
- ・中嶋 健（下関市立大学）

- 20世紀初頭の「美満津商店」商品カタログに見る日本のスポーツ用品産業
・新井 博（びわこ成蹊スポーツ大学）
日本のスキー発祥・普及期におけるスキー製造販売業

2) 専門領域「体育史」企画(2) キーノートレクチャー

キーノートレクチャーは第2日目 8月23日(木) 13:00~14:00を予定しています。

キーノートレクチャーの演題 「日本における運動会の歴史」
演者：木村吉次（中京大学名誉教授）
司会：來田享子（中京大学）

IV. 編集委員会報告

4月7日に編集委員会を開催し、以下の2点を審議いたしました。

- 1) 『体育史研究』への投稿はいつでも可能であるが、原則として締め切りは9月末日とする。
- 2) 『体育史研究』に掲載する原稿等は、編集委員会による査読を経たものや依頼したものとする。

原著4編、資料3編の投稿があり、編集委員会による審査手続きが進められています。第29号は原著論文1編、研究資料2編、海外からの特別寄稿1編に、日本体育学会第62回大会時のシンポジウム報告を加えて発行する予定です。

なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われておりますが、各年度の投稿締め切りは9月末となっております。詳細については『体育史研究』第20号以降に掲載されている投稿規程をご覧ください。投稿先は編集委員の來田享子先生の所属勤務先です。『体育史研究』に投稿される会員の皆様は、投稿原稿送付先にお送り下さい。

〒470-0393 豊田市貝津町床立101
中京大学スポーツ科学部 來田享子先生研究室気付
「体育史研究」編集委員会
電話 0565-46-6568 (研究室直通)
E-mail kraita@sass.chukyo-u.ac.jp

V. 会報の電子化に伴う会員による e-mail の登録について (お願い)

(1) 会報の電子化により、体育史学会会員は事務局まで以下の要領で e-mail アドレスをお知らせ願います。事務局で会員メールリストを作成し、登録いたします。

[e-mail アドレス使用の用途]

- ① から③の用途に会員のメールアドレスを使用し、その他の用途には使用しないこととする。
- ② 体育史学会会報 (添付資料 MS-WORD 書式) を配信するために会員 (正会員, 準会員, 名誉会員) からお申し出のアドレスを使用する。複数のアドレスでもよいこととする。ただし、携帯電話のメールアドレスは不可とする。

- ③ 体育史学会に関する事務局からの連絡や会員への問い合わせに使用する。
- ④ 一般社団法人日本体育学会事務局からの体育史学会会員への連絡事項や会員への問い合わせに使用する。

〔e-mail アドレスの事務局への登録方法〕

- 1) 事務局長のメールアドレス（榊原浩晃，福岡教育大学，hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp）にメールを送付する。件名：体育史学会メール登録，メール本文に「会員氏名，メールアドレス」を入力する。
- 2) 事務局長からのメール返信（会員メールアドレス，このメールが体育史学会事務局へ登録されました。）によって，登録手続きが完了したこととする。
メール返信は，自動化されていませんので，事務局長不在の際は，返信が遅れることがあります。返信がない場合は，再度送信していただくか，メールか，ファックスで問い合わせして下さい。

（2） HPに会報をアップした旨のメールを登録メールアドレス宛に配信いたします。そして，会報の内容を体育史学会ホームページ（<http://www.taiikushi.org>）よりご覧いただくようにしております。

また，会報の受け取りや事務局からの連絡について，e-mailをお使いにならない会員は，はがきか封書でその旨事務局にご連絡下さい。e-mailをお使いにならない会員に対しては，そのお申し出を受けて封筒による紙媒体で会報をお送りいたします。

VI. 会費を銀行口座からの自動引き落としによって納入されていない会員の方へ

平成24年度会費は，郵便振替または，ゆうちょ銀行への振り込みをご利用下さい。
(5月14日から加入者名を変更する予定です。新加入者名は次回会報でお知らせします。)

会費納入のために郵便振替をご利用の会員の皆様へ平成24年5月11日までは以下の口座番号，加入者名を継続します。

郵便振替口座番号 01050-0-74654 加入者名：体育史専門分科会
または
ゆうちょ銀行 店番109（イチゼロキュウ店）
預金種目 当座 口座番号 0074654 受取人名 タイクセンモンブンカイ